

# 空海の見た景色

VIEWS OF KOBODAI SHIKUKAI

## 生身供【shojingu】

生身供とは、今もお御廟にて人々のために祈りを捧げている弘法大師に食事を供える儀式のことで、毎朝6時と10時30分の2回行われている。御廟橋の手前にある御供所で調理され、嘗試（あじみ）地藏での味見を経て、維那（ゆいな）と呼ばれる僧が先頭を歩き御廟へと運ばれていく。お膳はすべて火を通した一飯一汁三菜、の合計5品で、伝統的な精進料理が中心だが、ときには洋風にアレンジされた料理が用意されることもあり、入定から1000年以上にわたり、一日も休むことなく続けられている。